

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	教育指導人材充実事業			会計	款	項目	大専	小事
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	指導課			
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	笠井 善亮			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内公立小中学校に通う児童生徒	意図	優れた技能や特技、専門家の指導を学校教育に取り入れ、教育内容の質的な向上を図り、児童生徒への指導の充実を図る。
事業内容	就学指導委員会、義務教育人材活用、音楽鑑賞教室、小中学校日本語指導等、幅広い人材を活用し、学習指導に活かすことにより、学校教育の充実を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	多様な活動の中でも、平成3年より実施した義務教育人材活用事業は、地域の人材を招聘し、学習等の充実が図られ、特色ある学校の活動ができています。小中学校日本語指導については、流山市に転入する外国人も増加傾向にあることから、学校からの支援要請希望も増加しています。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	義務教育人材活用	886	908	944		↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

様々な分野の人材を活用することにより、普段の学習や活動では得る事ができない、専門的な指導を受けることができた。

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

- ・学校ごとの地域人材の活用が、特色ある教育を進めるうえで大きな役割を担うようになっている。
- ・専門的な知識を有する方を学校に招聘することにより、学校での教育内容を大きく広げること寄与している。
- ・学校での要望は高く、音楽鑑賞教室は100%、小中学校日本語指導は外国人児童生徒の転入が予想を上回ったため、116%、全体を通して94.7%予算を執行した。

事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	5,538,276	5,724,754	5,925,800
事業費(b)(円)	3,810,776	3,842,254	4,209,550
うち一般財源	3,810,776	3,842,254	4,209,550
職員給与費(c)(円)	1,727,500	1,882,500	1,716,250
人役・職員(人)	0.25	0.25	0.25
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	・優れた人材を人材バンクとして登録し、幅広く広報し活用していくとともに、専門的な指導を受けられるよう、様々な分野の人材活用を図る。	③取組の課題	・登録された人材の活用状況を把握しながら、活用の呼びかけを各学校に定期的に行う必要がある。
②今年度(H28)に実施した取組	・人材バンクに幅広い分野の専門家を登録し、活用を図るよう各学校に呼びかけた。様々な分野の人材を派遣した。	④今後の改善計画	・登録された人材の活用状況を把握するとともに、教育ニーズに合った人材の確保、教育内容の質的な向上を図るための呼びかけを定期的に行う。